

令和7年度第5回三宅町教育委員会 会議録

開催日 令和8年2月19日（木）

午後2時30分～

場 所 三宅町役場 第1会議室

出席委員 甲村真理子・小坂井佳代・大泉志保
欠席委員 鈴木みどり・福島哲也
事務局等 出口局長・中井課長・日置指導主事・山北
傍聴者 なし

・教育長開会挨拶

授業参観をご覧いただきどうでしたか。私は理想に近づいてきていると感じている。小学校はこの3年間でとても進んだと思う。それはICTだけではない。先生方も授業のやり方に慣れてきている。以前はポスターセッションで行っていたことを今はモニターを使って取り組んでいる。

居場所が大事だと感じている。来年度は不登校支援に力を入れていきたい。不登校を問題行動と捉えるのはどうかと思っている。どのように学びのアクセスにつなげていくかが大切。

・議題

【議案】

1. 教育委員会所管の予算について
 - ・令和7年度12月補正
 - ・令和7年度12月専決
 - ・令和7年度3月補正（案）
 - ・令和8年度当初（案）

⇒中井課長より説明。

甲村委員：

幼稚園の給食費は無償化になるのか。管轄が違っても同じ三宅町だから、小学生だけ無償化なのはどうか。

出口局長：

幼稚園も1～3月分を無償化するため専決処分を行っている。

教育長：

小学校の無償化については国からの補助がある。中学校の無償化は町費で賅っている。幼稚園も検討していると思うが。

出口局長：

幼稚園も無償化で予算措置しているようだ。

小坂井委員：

地域パートナーシップ事業とはどのような事業か。登下校の見守り以外にどのような活動をされているのか。

出口局長：

コミュニティ・スクールなどの事業。以前は放課後子ども教室なども行っていた。登下校の見守りは現在46名登録いただいている。

〈採決〉

出席委員の賛成により承認。

2. 三宅町通級指導教室実施要綱の改定について

⇒日置指導主事より説明。

通級指導教室は特別支援学級と異なり、通常学級に在籍しながら週1、2時間程度、ADHDや情緒障害を抱える児童が学習している。三宅小学校では令和3年度から実施している。

発達検査や診断書を元にしており、通級に入る児童は増加しているが、入級を厳格にしようという県の方針に伴う改正。毎年度、審議し継続するかどうか判断する。必要がなくなれば通常学級に戻る。

甲村委員：

意見の聴取について、「教育支援委員会から」を「学校から」に変えてしまうと、専門の方からの意見が反映されなくなるのではという危惧がある。策定したときの意図はわからないが、専門性がなくなってしまうのが気になる。客観的な視点で見るため、教育支援委員会を残しておく方がいいと思う。学校だけにしてしまうと視点が狭まるような気がする。

日置指導主事：

診断書や心理士の見立てもある。学校からの書類もあわせて教育委員会で判断している。

小坂井委員：

「学校から」という記載は県からの通達か。

日置指導主事：

そうではない。

教育長：

教育支援委員会を開かずとも、通級に入ることはできる。教育支援委員会と記載してしまうと必ず開催しなければならなくなる。

「授業についていけない」、「通級に行きたい」という声もあり、学校との相談の中で通級に通うというケースもある。

甲村委員：

「学校及び」ではダメか。専門性のある意見も持たせ、様々な視点から見た方がいい気がする。

小坂井委員：

現場で働いている立場からすると、専門家の意見は参考になる。先生だけでなく、専門家の意見も聞いているというのは安心要素になる。

出口局長：

困り感を早く解消するため、早期対応を目的とした要綱。「学校等」にしておけば、児童それぞれに合わせた対応ができるのでは。

小坂井委員：

「学校」は何を指すのか、こだわると難しい。他は校長と記載されており、学校とは校長を指すのか。

甲村委員：

「学校」では漠然としているような。シビアな問題なので、色々な人の意見を集約してほしいと思う。

日置指導主事：

担当や校長から意見を聞いている。

甲村委員：

結果として、色々な人の視点から見て通級が必要だと判断し、決定を出すと思う。色々な人の視点があるのだと誤解されないようにしたい。せつかく教育支援委員会という専門性の記載があるので。専門機関でもいいと思う。

出口局長：

「学校もしくは専門機関」とか。

小坂井委員：

学校から専門機関に相談することはあるか。

日置指導主事：

専門機関の意見を聞いたうえで添付書類が作成される。学校は専門機関とやり取りしている。書類提出後に学校と教育委員会とで決定する。

出口局長：

個人調査票は誰が作成しているのか。

日置指導主事：

通級指導の先生が作成している。どこで検査を受けたなど記載される。「教育支援委員会から」を外したのは、これまでも数十名の委員を集めて開催したことがないため、現状に合わせてこのような形にした。

教育長：

「前項の規定により届出を受けた児童」がクローズアップされる方がいい。「学校から」、「教育委員会から」と書いてしまうとどちらが強くなってしまうので、「意見を聴取し、」を削除するのはどうか。

日置指導主事：

式下中組合については川西町と協議する。

〈採決〉

出席委員の賛成により承認。

【報告】

1. 県費教職員人事異動について【非公開】

⇒教育長、出口局長より報告。

2. 令和7年度3月議会上程予定の議案について

- ・三宅町教育委員会教育長の任命
- ・三宅町体育館等の指定管理者の指定

⇒出口局長より報告。

3. 令和7年度全国体力・運動能力調査結果について

⇒日置指導主事より報告。

4. 学校給食費の無償化に伴う規則の改定について

⇒山北より報告。

【事務連絡】

1. その他

・経過報告及び当面の日程

*次回 教育委員会会議の日程について

令和8年3月10日（火）午後2時30分～

・教育長閉会挨拶